

第38回日本川崎病学会・学術集会

シンポジウム4

日時：2018年11月17日(土) 13:50～15:20

会場：和歌山県民文化会館 2階 小ホール

和歌山市小松原通り一丁目1番地

難治例への治療

座長

三浦 大 先生 (東京都立小児総合医療センター)

濱田 洋通 先生 (東京女子医科大学八千代医療センター)

演者1

免疫抑制剤を3rd lineに用いた統一プロトコールでの川崎病治療8年間の成績

濱田 洋通 先生 (東京女子医科大学八千代医療センター)

演者2

川崎病へのステロイド大量療法、インフリキシマブ、免疫抑制剤の効果と投薬日の関係

宮本 健志 先生 (獨協医科大学)

演者3

単施設における川崎病治療プロトコールと治療成績

岩佐 充二 先生 (名古屋西病院)

演者4

冠動脈病変合併リスクの高い川崎病患者に対する投与期間を短縮させた免疫グロブリン・ステロイド初期併用療法の検討

加藤 太一 先生 (名古屋大学)

演者5

好中球エラスターゼ阻害剤併用治療のプロトコールにおける冠動脈病変合併例の予後検討

金井 貴志 先生 (防衛医科大学校)

演者6

ガンマグロブリン不応川崎病に対する免疫抑制療法の治療成績

関 満 先生 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター)